授業名: 理学療法研究法(1/3)

	受業名: 埋字療法	A 191 764	Д (1/0/		•			
	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	理学療法学科	【学年】	4	
	PT学科教員	一般	添田	【開講時期】	前期	【回数(時間)】		
【極業	の概要】	,,,,	****	【曜日・コマ】	木 3~5	【授業形態・単位】		
	の概要』 -プ学習・演習を通して臨	古宝型/	- 必要か其礎4	コ誰お上が坊台	<u>金2</u> 此た修得す	知識・理解	まつれのハ】	
	門基礎分野、基礎3科目					考え抜く力		
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			.,		チームで働く力	]	
	目標(到達目標)】						-	
	k実習に向けた基礎学力 Bst 除な k が 期 まま 除た			- X# 4日 <del>-                                  </del>				
四中區	聞試験および期末試験に	- C /U%ル	以上の正合率で	፫獲侍9句.				
【履修	多上の注意】 個人の知	識に頼ら	ず、記憶したこ	とを他者に伝	えることにより	学習の理解を選	<b>深める。</b>	
回数	授業のテーマ(担当	教員)		授業の内容(	授業方法•使用教	枚材・学修方法)		
1	解剖生理学—植物機	能(1)	循環器系の解	ネ剖・生理を復	習する			
2	解剖生理学—植物機	能(2)	循環器系の解	 詳剖・生理を復	 習する			
3	———————— 解剖生理学—植物機	能(3)	消化器系、泌	 尿器系の解音	  -生理を復習す	「る		
4	解剖生理学—植物機	能(4)	消化器系、泌	尿器系の解部 	・生理を復習す	<sup>-</sup> る		
5	解剖生理学—植物機	能(5)	呼吸器系の解	剖・生理を復	習する			
6	解剖生理学—植物機	能(6)	呼吸器系の解	ネ剖・生理を復	習する			
7	解剖生理学—植物機	能(7)	代謝、内分泌	系、発生と組織 系、発生と組織	織の復習をする	)		
8	解剖生理学—植物機	能(8)	代謝、内分泌	 系、発生と組紀	織の復習をする	)		
9	解剖生理学—動物機	能(1)	中枢神経の解	 詳剖・生理を復	習する			
10	解剖生理学—動物機	能(2)	中枢神経の解		習する			
11	解剖生理学—動物機	能(3)	中枢神経の解	≓剖・生理を復	習する			
12	解剖生理学—動物機	能(4)	末梢神経の解		習する			
13	解剖生理学—動物機	能(5)	末梢神経の解	- 詳剖・生理を復	習する			
14	解剖生理学—動物機	能(6)	骨格筋の構造	<u>·</u> 筋収縮の生	理・反射を復習	ゔする		
15	解剖生理学—動物機	能(7)	感覚受容器、	— 感覚器の構造	もと機能、伝導路	各の復習をする	1	
期末 試験	模擬試験		評価方法	受講態度 課題の達成度	1	筆記試験	10% 0%	
【教科書】 PT/OT国家試験必修ポイント 専門基礎分野基礎医学 (医歯薬出版)								
【参考	書】各領域における1~3	3年次科目	目の教科書					
【授業時	間外に必要な学習の具体的内容】	これまで	学んできたこと	_を適宜, 復習	すること			
【本諱	<b>「義に関しての質問先】</b>	科目	]責任者	【質問方法】	教員室にて			
	•							

<del></del>	受業名: 理学療法	<u>去研究</u>	法(2/3)		_					
	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	理学療法学科	【学年】	4			
	PT学科教員	一般	添田	【開講時期】	前期 月 1~5	【回数(時間)】	45(90)			
「妈業	の概要】			【曜日・コマ】	月 1~5	【授業形態・単位】記載				
グル- る。 専	ープ学習・演習を通して臨 門基礎分野、基礎3科目				知識・理解 考え抜く力 チームで働く力	2169717				
①臨.	'目標(到達目標)】 末実習に向けた基礎学力 間試験および期末試験に			を獲得する.						
	修上の注意】 個人の知	哉に頼ら	1			学習の理解を深	める。			
回数	授業のテーマ(担当	<b>0</b> 員)		授業の内容(	授業方法•使用	教材·学修方法)				
1	解剖生理学—動物機	能(8)	感覚受容器、	感覚器の構造	<b>造と機能、伝導</b> 路	烙の復習をする				
2	運動機能学(1)		骨の構造、関	節、靭帯の復	習をする					
3	運動機能学(2)		骨の構造、関	節、靭帯の復	習をする					
4	   運動機能学(3) 		上下肢の関節、手根管、手部の筋について復習をする							
5	運動機能学(4)		上肢の筋の復	上肢の筋の復習をする						
6	運動機能学(5)		上肢の筋の復習をする							
7	運動機能学(6)		下肢の筋の復	習をする						
8	運動機能学(7)		下肢の筋の復	夏習をする						
9	運動機能学(8)		正常歩行につ	いて復習をす	-S					
10	理学療法治療学—基本介.	入手段(1)	運動療法の生 筋力増強運動		を理解し、基本に	的介入手段を実	践できる			
11	理学療法治療学—基本介.	——— 入手段(2)	運動療法の生 関節可動域訓			的介入手段を実	践できる			
12	理学療法治療学—基本介。	入手段(3)	運動療法の生 疾患別運動療			的介入手段を実	践できる			
13	理学療法治療学—基本介。	入手段(4)	物理療法の使 温熱療法、低		な、禁忌等につい	ハて復習する				
14	理学療法治療学—基本介.	入手段(5)	日常生活活動 ADL評価、リノ		<b>倫について復習</b>	する				
15	理学療法治療学—基本介.	入手段(6)	補装具療法に KAFO・AFOの							
期末 試験	模擬試験		評価方法	受講態度 課題の達成度	50% 40%	筆記試験	10% 0%			

【教科書】 PT/OT国家試験必修ポイント 専門基礎分野基礎医学 (医歯薬出版)

【参考書】各領域における1~3年次科目の教科書

【授業時間外に必要な学習の具体的内容】これまで学んできたことを適宜、復習すること

科目責任者 【質問方法】 教員室にて 【本講義に関しての質問先】

授業名: 理学療法研究法(3/3)

汉不口 生 ] 凉/	A 191 7 U	A (0/0)						
【担当教員】	法学科	【学年】	4					
PT学科教員	一般	添田	【開講時期】	前	期	【回数(時間)】	45(90)	
FI子科教員	<b>刊又</b>	<b>※</b> 田	【曜日・コマ】	月 1~5 木 3~5	【授業形態・単位】	講義∙演習	3	
【授業の概要】				金	2	【受講して得	られる力)	]
グループ学習・演習を通して路						知識•理解		
る。専門基礎分野、基礎3科目	(解剖学	·生理学·運動	学)の基礎学	カ向上を	図る。	考え抜く力		
						チームで働く力	J	
【学習目標(到達目標)】								
①臨床実習に向けた基礎学力								
②中間試験および期末試験に	て70%以	以上の正答率を	を獲得する.					

7 FZ /4	タレの注意】個1の知識に振う	
【復刊 回数		ず、記憶したことを他者に伝えることにより学習の理解を深める。 授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)
凹釵	授業のテーマ(担当教員)	
1	障害別PT治療学(1) —骨関節系障害領域	骨関節系障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 関節リウマチ、肩関節疾患
2	障害別PT治療学(2) —骨関節系障害領域	骨関節系障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 膝関節・股関節疾患
3	障害別PT治療学(3) —骨関節系障害領域	骨関節系障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 骨折、スポーツ傷害
4	障害別PT治療学(4) —骨関節系障害領域	骨関節系障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 脊椎疾患、小児整形外科疾患
5	障害別PT治療学(5) —骨関節系障害領域	中枢神経系障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 脳血管障害
6	障害別PT治療学(6) —中枢神経系障害領域	中枢神経系障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 脳血管障害
7	障害別PT治療学(7) —中枢神経系障害領域	中枢神経系障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、ALS
8	障害別PT治療学(8) —中枢神経系障害領域	中枢神経系障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 脊髄損傷
9	障害別PT治療学(9) —中枢神経系障害領域	中枢神経系障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 脊髄損傷
10	障害別PT治療学(10) —神経筋系障害領域	神経筋系障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる ギランバレー症候群、シャルコーマリートゥース病、筋ジストロフィー症
11	障害別PT治療学(11) —内部障害領域	内部障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 呼吸障害
12	障害別PT治療学(12) —内部障害領域	内部障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 呼吸障害
13	障害別PT治療学(13) —内部障害領域	内部障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 循環障害
14	障害別PT治療学(14) —内部障害領域	内部障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 循環障害
15	障害別PT治療学(15) —内部障害領域	内部障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 代謝障害、高齢障害、その他の内部障害
期末 試験	模擬試験	評価方法 受講態度 50% 筆記試験 10% 課題の達成度 40% の%
15 期末 試験	—内部障害領域 障害別PT治療学(15) —内部障害領域 模擬試験	循環障害 内部障害領域の評価、基本的介入手段を実践できる 代謝障害、高齢障害、その他の内部障害  ジー・フィー・シー・シー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【教科書】 PT/OT国家試験必修ポイント 専門基礎分野基礎医学 (医歯薬出版)

【参考書】各領域における1~3年次科目の教科書

【授業時間外に必要な学習の具体的内容】これまで学んできたことを適宜、復習すること

【本講義に関しての質問先】 科目責任者 【質問方法】 教員室にて

授業名: 理学療法マネージメント論

	(:	担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	理学療法学科	【学年】	4
#± ·			前几	添田	【開講時期】	前期	【回数(時間)】	
元	<b>不 万一</b> ,	<b>浴田 1建1</b>	一般	※四	【曜日・コマ】	火 2	【授業形態・単位】	講義 1
【授業	の概要】					水 1・2	【受講して得	られる力】
		経験を再検証す					考え抜く力	
ICFの	観点で整	理し患者像を	把握し、凡	問題点抽出・目	標設定を行い	ます。	専門職としての	Dスキル・意識
							コミュンケーシ	ョンスキル
		達目標)】					情報活用能力	
		定例を再検証し 					問題解決力	
_		・トップダウン双			)遅いを埋解し	説明できる。	論理的思考力	
③現1 	人から日代	票に向けての追	1別でエオ	たいさる。			創造的思考力 	
【履修	多上の注:	意】 総合臨床	実習に向	]けて自身の引	き上げになる	よう臨んでくだ	さい。	
回数	授業	<b>のテーマ</b> (担当	教員)		授業の内容(	授業方法•使用	教材•学修方法)	
4	オリエン	テーション		授業の概要、	すすめ方			
1								
	評価実習	の振り返り①		評価実習のレ	·ジュメを用い <sup>-</sup>	て患者像の振り	J返りを行います	0
2				評価実習のレ	/ジュメを批判)	的に読み、不足	している点を拍	出します。
	評価実習	の振り返り②					異なる考え方な	
3								
	拉価宝型	   の振り返り③		串者像の説明	を行い 他者を	から疑問・不足	異なる考え方な	ゲンを得ます
4							<del>&gt;</del>	C 5 14 9 9 9
	=17/14/14/13	   の振り返り④		生 孝 色 の 岩 明	太行い 仏老者	いた経明・不見	異なる考え方な	・じた但士士
5	計画天白	ョの派の返り4)		思有像の説明	を打い、他名が	いり延回された、	共体の行ん力は	ことで行みり。
	== /= += ==	7.0.EU.EU.E		中大佐の聖四		,	田4.7.7.1.1.1	
6	評価実習	習の振り返り⑤		患者像の説明 	を行い、他者が	いら疑問・小足、	異なる考え方な	とを得ます。
7	評価実習	図の振り返り⑥				習の症例を再	検証します。	
				患者像、問題				
8	総合臨床	ド実習に向けて	$\odot$	治療プログラ	ム立案につい	て学びます。		
O				必要な情報収	集			
9	総合臨床	ま実習に向けて	2	治療プログラ	ム立案につい	て学びます。		
9				必要な情報収	集			
4.0	総合臨床	実習に向けて	· <u>③</u>	治療プログラ	ム立案につい	て学びます。		
10				必要な情報収	集			
	住環境情					情報とは何かる	<u></u> を学びます。	
11				平面図の描き				
	住環境に	以外の背景因子	<u>-</u>			まどのような <i>キ</i> 。ィ	 のがあるのかを	学びます。
12	止べたと	~~ 一水凹】			· 17 % [2] 1 [2]		ے 13 رق 5 رق 10 ر	. 5570
-	ボトハア	 ップとトップダウ	かり田孝	これまでの振い	返りをも.とに ボト	ムアップとトップ々	 ゙ヹヷンの思考の違	いを学びすす
13	/NI A /	ノノロロノノブウ	ノ心つ				・ノン・ハ心行りた	<u>、でユーロ・みり。</u> 
<u> </u>	ギロフ		<b>八田</b>	これまでの振り	にしたナレルギリ	/. マップレι ~ <i>t</i>		いたヴバナナ
14	ハトムノ、	ツノとトツノダウ	ノン応布	これまでの振り	返りをもとに小り	ムアツノビトツノウ	ソノの心布の達	いを子ひまり。
	<u> </u>			<u> </u>				
15	まとめ			まとめ				
						-	-	
期末				評価方法	課題の達成度	<u> </u>		0%
試験	<u> </u>	- 77 - " P: ·			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0%	A 200 del 2014 201	0%
	<del></del>					ます。症例報告会	会資料を持参して	ください。
		になるものがあ						
【授業時	間外に必要な	は学習の具体的内容】	これまで	学んできたこと	とを適宜、復習	すること		
【本訓	講義に関し	ての質問先】	科	目責任者	【質問方法】	教員室にて		

授業名: 総合演習(1/5)

	受業名: 総合演	<b>日(1/ 5</b>	)		-							
	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	理学療法学科	【学年】	4					
	PT学科教員	一般	添田	【開講時期】	後期	【回数(時間)】						
F 1= 31/2		712	//K III	【曜日・コマ】	月~金 1~4	【授業形態・単位】						
グルー	【授業の概要】 【受講して得られる力】 【受講して得られる力】 グループ学習を通し、理学療法における知識と技術、及び臨床的思考確立の集 知識・理解 大成とする。本講義には卒業試験が含まれる。 専門職としてのスキル・意識 論理的思考力											
①理章 ②理章 3国》	目標(到達目標)】 学療法における基礎知識 学療法における臨床思考 家試験取得に向けて幅広	を確立するい分野の	<sup>け</sup> る. の知識修得∙理		·T m + 2 - 1							
【履修上の注意】 類識の整理のため、グループ学習を最大限に活用すること。 <b>回数                                    </b>												
1	基礎医学		解剖学の知識			12/12/2/2/						
2	基礎医学		解剖学の知識	せい 整理								
3	基礎医学		解剖学の知識	战の整理								
4	基礎医学		解剖学の知識	战の整理								
5	5 基礎医学 解剖学の知識の整理											
6	基礎医学		運動学の知識	战の整理								
7	基礎医学		運動学の知識	战の整理								
8	基礎医学		運動学の知識	战の整理								
9	基礎医学		運動学の知識	战の整理								
10	基礎医学		運動学の知識	战の整理								
11	基礎医学		生理学の知識	战の整理								
12	基礎医学		生理学の知識	战の整理								
13	基礎医学		生理学の知識	战の整理								
14	基礎医学		生理学の知識	战の整理								
15	小テスト		基礎医学に関									
期末試験	試験											
	【教科書】理学療法士 作業療法士 国家試験必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学 (医歯薬出版)											
	【参考書】各分野・領域における1~3年次科目の教科書  【授業時間外に必要な学習の具体的内容】これまで学んできたことを適宜、復習すること											
【本語	構義に関しての質問先】	科	目責任者	【質問方法】	教員室にて							

授業名: 総合演習(2/5)

<u> </u>	受業名: 総合演	当(Z/ ɔ́,	)		•				
	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	理学療法	学科	【学年】	4	
	DT까티# 므	ήΠ.	УП	【開講時期】	後期		【回数(時間)】	75(150)	
	PT学科教員	一般	添田	【曜日・コマ】	月~金 1	~4	【授業形態·単位】	演習 5	
グルー	の概要】 -プ学習を通し、理学療治 :する。本講義には卒業記			及び臨床的原	思考確立の		【受講して得知識・理解専門職としての論理的思考力	)スキル・意識	
①理章 ②理章 ③国》	目標(到達目標)】 学療法における基礎知識 学療法における臨床思考 家試験取得に向けて幅広 多上の注意】…知識の整	を確立すい分野の	¯る. の知識修得•理		活用するこ	٦			
回数	授業のテーマ(担当								
1	臨床医学		病理学の知識						
2	臨床医学		病理学の知識	め整理					
3	臨床医学		内科学の知識	 成の整理					
4	臨床医学		内科学の知識	ぱの整理					
5	5 臨床医学 内科学の知識の整理								
6	臨床医学		整形外科学の	知識の整理					
7	臨床医学		整形外科学の	知識の整理					
8	臨床医学		整形外科学の	知識の整理					
9	臨床医学		神経内科学の	知識の整理					
10	臨床医学		神経内科学の	知識の整理					
11	臨床医学		神経内科学の	知識の整理					
12	臨床医学		臨床心理学の	知識の整理					
13	臨床医学		精神医学の知	1識の整理					
14	臨床医学		リハビリテーシ	/ョン医学、リ/	ハビリテージ	ション	概論の知識の	整理	
15	小テスト		臨床医学に関	する理解度を	確認する				
期末 試験	卒業試験		評価方法	筆記試験	100% 0%			0% 0%	
	教科書] 理学療法士 作業療法士 国家試験必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学 (医歯薬出版)								
	書】各分野・領域におけん								
【授業時	間外に必要な学習の具体的内容】	これまで	学んできたこと	≥を適宜, 復習	すること				
【本語	<b>構義に関しての質問先】</b>	科目	]責任者	【質問方法】	教員室に	て			

授業名: 総合演習(3/5)

	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	理学療法学科	【学年】	4
		ńЛ		【開講時期】	•	【回数(時間)】	75(150)
	PT学科教員	一般	添田	【曜日・コマ】	月~金 1~4	【授業形態·単位】	演習 5
グルー 大成と	の概要】 -プ学習を通し、理学療派: :する。本講義には卒業			及び臨床的息	思考確立の集	【受講して得知識・理解専門職としての 論理的思考力	
①理等	目標(到達目標)】 学療法における基礎知識 学療法における臨床思考 家試験取得に向けて幅広	を確立す	<sup>ト</sup> る.	関を目指す.			
【履作	多上の注意】 知識の整	理のため	、グループ学	習を最大限に	活用すること。		
回数	授業のテーマ(担当	教員)		授業の内容(	授業方法·使用	教材·学修方法)	
1	臨床医学		病理学の知識	せい 整理			
2	臨床医学		病理学の知識	战の整理			
3	臨床医学		  内科学の知識 	战の整理			
4	臨床医学		内科学の知識	战の整理			
5	臨床医学		内科学の知識	战の整理			
6	臨床医学		整形外科学の	知識の整理			
7	臨床医学		整形外科学の	知識の整理			
8	臨床医学		整形外科学の	知識の整理			
9	臨床医学		神経内科学 <i>σ</i>	知識の整理			
10	臨床医学		神経内科学 <i>σ</i>	知識の整理			
11	臨床医学		神経内科学 <i>σ</i>	知識の整理			
12	臨床医学		臨床心理学 <i>0</i> .	知識の整理			
13	臨床医学		精神医学の知	コ識の整理			
14	臨床医学		リハビリテーシ	/ョン医学、リ/	ハビリテーション	v概論の知識の	整理
15	小テスト		臨床医学に関	する理解度を	確認する		
期末 試験	卒業試験		評価方法	筆記試験	100% 0%		0% 0%
	書】理学療法士 作業療				基礎分野 基礎图	医学 (医歯薬出	版)
	書』各分野・領域におけ				<b>コーフー</b> 1		
	間外に必要な学習の具体的内容】				=		
【本語	<b>講義に関しての質問先】</b>	科	目責任者	【筫問万法】	教員室にて		

授業名: 総合演習(4/5)

	受業名: 総合演	首 (4/5)	)		•				
	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	理学療法	去学科	【学年】	4	
		ήΠ.	Υm	【開講時期】	後	朝	【回数(時間)】	75(150)	
	PT学科教員	一般	添田	【曜日・コマ】	月~金	1~4	【授業形態·単位】	演習 5	
グルー	の概要】 -プ学習を通し、理学療治: :する。本講義には卒業記			及び臨床的思	思考確立	の集	【受講して得知識・理解専門職としての論理的思考力	ンスキル・意識	
①理章 ②理章 3国》	目標(到達目標)】 学療法における基礎知識 学療法における臨床思考 家試験取得に向けて幅広 多上の注意】 ::知識の整:	を確立すい分野の	¯る. D知識修得•理		活田する				
回数	変生の注念】:私職の主 授業のテーマ(担当								
1	理学療法治療学		骨関節系障害			(2/13)	XII 11971A7		
2	理学療法治療学	<u> </u>	骨関節系障害	『学の知識の』	生理				
3	理学療法治療学	<u> </u>	骨関節系障害	─── <del>──</del> 『学の知識のst	 生理				
4	理学療法治療学	<u>5</u>	骨関節系障害	デース 学の知識の	生理				
5	5 理学療法治療学 中枢神経系障害学の知識の生理								
6	理学療法治療学	<u> </u>	中枢神経系障	き言学の知識(	の生理				
7	理学療法治療学	<u> </u>	中枢神経系障	き言学の知識(	の生理				
8	理学療法治療学	<u>5</u>	中枢神経系障	き 書学の知識の	の生理				
9	理学療法治療学	<u> </u>	中枢神経系障	き言学の知識(	の生理				
10	理学療法治療学	<u> </u>	神経筋系障害	写学の知識の <u></u>	生理				
11	理学療法治療学	<u>5</u>	神経筋系障害	デ学の知識の <u></u>	生理				
12	理学療法治療学	<u></u>	内部障害学の	知識の生理					
13	理学療法治療学	<u></u>	内部障害学の	知識の生理					
14	14 理学療法治療学 運動発達障害学の知識の生理								
15	小テスト		理学療法治療	受に関する理	■ ■解度を	 確認す	る.		
期末 試験	試験								
【教科	教科書] 理学療法士 作業療法士 国家試験必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学 (医歯薬出版)								
【参考	【参考書】各分野・領域における1~3年次科目の教科書								
【授業時	間外に必要な学習の具体的内容】	これまで	学んできたこと	とを適宜、復習	すること				
【本語	<b>構義に関しての質問先】</b>	科目	]責任者	【質問方法】	教員室	にて			

授業名: 総合演習(5/5)

	受業名: 総合演	白(3/3)	)		•							
	【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	理学療法	学科	【学年】	4				
	PT学科教員	一般	添田	【開講時期】	後期		【回数(時間)】	75(150)				
		ŊХ	γжш	【曜日・コマ】	月~金 1	<b>~</b> 4	【授業形態・単位】	演習 5				
グルー	【授業の概要】											
①理章 ②理章 ③国家	【学習目標(到達目標)】 ①理学療法における基礎知識・技術の修得を図る. ②理学療法における臨床思考を確立する. ③国家試験取得に向けて幅広い分野の知識修得・理解を目指す. 【履修上の注意】 知識の整理のため、グループ学習を最大限に活用すること。											
-	【履修上の注意】 知識の整理のため、グループ学習を最大限に活用すること。  回数 授業のテーマ(担当教員) 授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)											
回数	<b>授業のテーマ</b> (担当	<b>双</b> 貝)		技未の内谷(	<b>授</b> 耒力法"	(世) 用	XM · 子修力法)					
1	基礎医学・臨床医	学	基礎医学•臨	床医学に関す	る知識の「	応用						
2	基礎医学∙臨床医	学	基礎医学•臨	床医学に関す	る知識の原	応用						
3	基礎医学∙臨床医	学	基礎医学•臨	床医学に関す	る知識の原	応用						
4	基礎医学・臨床医	学	基礎医学•臨	床医学に関す	る知識の原	応用						
5	5 基礎医学・臨床医学 基礎医学・臨床医学に関する知識の応用											
6	基礎医学・臨床医	学	基礎医学•臨	床医学に関す	る知識の原	応用						
7	基礎医学·臨床医	学	基礎医学•臨	床医学に関す	る知識の	応用						
8	基礎医学·臨床医	学	基礎医学•臨	床医学に関す	る知識の原	応用						
9	基礎理学療法学 理学療法治療学		基礎理学療法	· 理学療法	治療学に	関する	る知識の応用					
10	基礎理学療法学 理学療法治療学		基礎理学療法	· 理学療法	治療学に	関する	る知識の応用					
11	基礎理学療法学 理学療法治療学		基礎理学療法	· 理学療法	治療学に	関する	る知識の応用					
12	基礎理学療法学 理学療法治療学		基礎理学療法	去学∙理学療法	治療学に	関する	る知識の応用					
13	基礎理学療法学 理学療法治療学		基礎理学療法	· 理学療法	治療学に	関する	る知識の応用					
14	基礎理学療法学 理学療法治療学		基礎理学療法	· 理学療法	治療学に	関する	る知識の応用					
15	15 小テスト 理学療法治療学に関する理解度を確認する.											
期末 試験												
【教科	書】理学療法士作業療	法士 国	家試験必修ポ	イント 専門基	礎分野 基	<b>基礎医</b>	学(医歯薬出	出版)				
	書】各分野・領域におけ											
	間外に必要な学習の具体的内容】		学んできたこと	とを適宜、復習	すること							
【本詞	講義に関しての質問先】	科	目責任者	【質問方法】	教員室に	こて						

授業名: 臨床実習(1/2)

			7.4.4.4.4.1	- 田兴康社兴利	「光左」	
	【担当教員】	【科目責任者】		理学療法学科	【学年】	(630)
		添田	【開講時期】	通年		
71≅ 31r	○柳西】		【曜日・コマ】		【授業形態・単位】	実習 14
	の概要】	-16-25-1-1-1-1-1-1-1			【受講して得	
	指導者の指導のもと、学内で				前に踏み出す:	カ
<b> </b> ⊐ — Л	レ・プログラムの立案、記録の	という一連の埋字療	法を実施する	0	考え抜く力	
					コミュンケーショ	ョンスキル
	目標(到達目標)】	情報活用能力				
_	療法の対象者に対して、基本			-	問題解決力	
	医療・福祉の各分野における理学療				論理的思考力	
3)美官	習を通して、自己の理学療法	ま士としての目覚を何	可上させること	かできる		
7 EE /s	在102年】FEE中的33.1+	+n /ミエ ヘ +b o 18 ^	r≠ + + 111 + +	71-41	   、1日	
		朝が不合格の場合、 				
回数	授業のテーマ(担当教員	1)	授業の内容の	授業方法•使用	教材•学修方法)	
1						
' '						
2						
3						
4						
5						
6						
١						
		1)宝羽指道者	の助言・指道	のまと 評価・問	問題点抽出・目标	≡設定•治療
7		プログラムの			録し、他者にわる	
	病院・診療所における	えることができ		10 (	), O (   D   D   -   )	
8	実習Ⅰ期			者、職員、すべ	くての人へ謙虚7	な心を持ちな
	(2020年6月1日~ 2020年7月24日)	がら応対し、	チームの一員	として良い人間	関係を築くことだ	バできる
9	2020年7月24日)	3)指導者の助	]言・指導や文	:献をもとに、理	学療法士としての	の知識・技術
9		の向上を図る	ことができる			
10						
11						
''						
12						
13						
14						
14						
15						
ш				: 000	T =	
期末	学内症例報告会	評価方法	実習評価	80%		0%
試験		H 1   MM 7 J 724	発表会の結果	20%	<u> </u>	0%
【教科	書】					
【参考						
【授業時	<u></u> 間外に必要な学習の具体的内容】					
	講義に関しての質問先】	学科教員	「唇明七汁】	教員室にて		
	我に因しての貝미兀』	<b>十</b> 付	【貝미刀法】	、秋貝王にし		

授業名: 臨床実習(2/2)

	【担当教員】	【科	科目責任者】	【対象学科】	理学療法学科	【学年】	4
				【開講時期】		【回数(時間)】	(630)
			添田	【曜日・コマ】		【授業形態·単位】	実習 14
実習技	の概要】 指導者の指導のもと、学に レ・プログラムの立案、記					【受講して得前に踏み出す 考え抜くカコミュンケーシ	カョンスキル
①理学 ②保健·	目標(到達目標)】 特療法の対象者に対して、基 医療・福祉の各分野における理学 習を通して、自己の理学を	情報活用能力 問題解決力 論理的思考力					
【履作	多上の注意】 実習生、医療・	T	わる職業人を目	指すものとして責任	£ある行動をとる。提	出物の期限・施設の規	規則を厳守。
回数	授業のテーマ(担当者	教員)		授業の内容の	授業方法•使用	教材・学修方法)	
1							
2							
3							
4							
5							
6						問題点抽出·目	
7	病院・診療所におい	+ ス え	ることができ	<b>きる</b>		録し、他者にわ ・ての人へ謙虚	
8	実習Ⅱ期 (2020年9月7日~ 2020年10月30日	〕 ) が 3)注	ら応対し、デ 指導者の助	Fームの一員。 言•指導や文	として良い人間	関係を築くことだ 学療法士として	ができる
9		4)	臨床実習を	ことができる 通して、常に私 けることができ		向上心を持ち、	生涯学習の
10							
11							
12							
13							
14							
期末 試験	学内症例報告会		評価方法	実習評価 発表会の結果	80% 20%		0% 0%
【教科	<del></del>						
【参考	<del></del>						
	間外に必要な学習の具体的内容】		I# = 1	<b>-</b>	In E -		
【本詞	構義に関しての質問先】	学科	教員	【質問方法】	教員室にて		